

イネいもち病（葉いもち）情報第2号

令和6年7月3日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

一部のほ場で葉いもちの発生が確認されました ほ場における発生状況に注意しましょう

6月下旬の巡回調査の結果、一部のほ場で葉いもちの発生が確認されました。イネいもち病発生予察用シミュレーションプログラム（BLASTAM）を用いた葉いもち感染好適日の判定によれば、6月以降、県内各地でいもち病感染好適日が示されています（表）。特に、愛西と稲武では連続した感染好適日が観測されています。いもち病菌に感染すると7日前後で病斑が形成され、10日から2週間で病斑が目立つようになります。コシヒカリ等、本病に抵抗性を持たない品種は注意しましょう。

名古屋地方气象台6月27日発表の1か月予報によれば、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。本病の発病に好適な条件が続くため、発生状況に注意しましょう。

表 BLASTAMによるいもち病（葉いもち）感染好適日の判定結果（6月10日～7月2日）

日付	愛西	名古屋	大府	南知多	豊田	岡崎	蒲郡	伊良湖	豊橋	新城	稲武
6/10	7	④	3	●	9	●	④	●	●	6	3
6/11 ～6/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/16	④	4	④	9	2	8	—	—	④	9	2
6/17	4	—	●	—	3	1	●	—	—	●	3
6/18	9	7	7	2	7	8	8	7	3	8	8
6/19	—	—	—	—	—	7	—	—	—	6	6
6/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/21	2	4	3	5	4	5	2	3	3	4	5
6/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/23	4	5	④	6	9	7	8	7	5	9	8
6/24	●	●	5	6	6	2	2	2	2	6	4
6/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/28	3	4	4	3	4	3	3	4	3	3	4
6/29	●	②	5	—	—	—	—	5	3	—	8
6/30	●	6	—	9	—	—	9	7	7	9	●
7/ 1	8	—	③	8	③	③	●	—	—	●	●
7/ 2											

●：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた）

④：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低温、その平均気温に必要な湿潤時間より短い）

③：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃の範囲外）

②：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）

①：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）

数値：湿潤時間が10時間未満の場合の湿潤時間数

—：好適条件なし（いもち病発生の好適条件が現れなかった）